

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 815 号	氏名	Do Phuong Loan
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	安田 二郎	
	副 査	濱野 真二郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、日本におけるロタウイルス G2 株の進化の様相を明らかにするとともに、希少株である G1P[6] AU19 株の全ゲノム解析を通して、ロタウイルスの流行メカニズムを解明することを目的としたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 過去 31 年間に収集された 35 の分離株について、G2 VP7 遺伝子ロタウイルス遺伝子のよく保存された領域に設定したプライマーを使い逆転写-PCR 法を行い、サンガー法により塩基配列を決定している。AU19 株は各遺伝子の全長を増幅し塩基配列を決定している。既存のデータと比較しながら分子系統解析を行い、種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、2004 年以降の G2 株のほとんどすべてが 1980 年代の旧段階の系統群 (IVa 以外の IV 系統) から新しく出現していることを見出している。AU19 の遺伝子型構成は、NSP5 遺伝子以外の遺伝子分節がブタロタウイルスと酷似する一方、NSP5 遺伝子はブタロタウイルスには全く見られない遺伝子型 H2b で、種間伝播を起こしたブタロタウイルスが、まれなヒトロタウイルスとの遺伝子再集合を起こした変異体であることが分かった。今後のウイルス分子進化研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はロタウイルス研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			